

「冒された者」

レビ記14:1~15:33
2列王記 7:3~20
ロマ人6:19~23,
マタイ17:9~13, 23:16~24:2

これは、どんなときにそれが汚れているのか、またどんなときにそれがきよいのかを教えるためである。これがツアラアトについてのトラーである。レビ記 14:57



過越の祭りを迎える準備をするこの季節、私たちはハメッツ（パン種の入ったもの）のキャビネットを、そしてパン種を宿す私たちの心を、一掃します。私たちのなすべきことは霊的なことですが、物理的な家の大掃除は、私たちの中で悔い改めて癒される必要があるものを聖霊に聞き求め、内省する時間ともなるでしょう。

私たちはイエシュアの贖いの犠牲、その血によって、清められています。自分たちが神の聖霊が住まわれるにふさわしい、美しく居心地の良い家となるために、ふさわしい歩みを果たすことができますように！！それは私たち個人の家、身体、魂だけでなく、私たちの家族や人間関係においても同じです。ここには、らい病とも訳されるツアラアトという「疫病」に感染すると、皮膚だけでなくその家や衣服までも冒されると書かれています。これには霊的なルーツがあり、それは文字通り邪悪な舌（軽蔑的な言葉）との意味を持つラション・ハラの罪に由来するといわれています。それゆえ私たちは、日々肯定的な愛のこもった言葉を使うことができるように、細心の注意を払いましょう！

ヘブル語では、このパーシャの清めの儀式的説明の中に「マイム・ハイム」、つまり「生きた水」という言葉が何度か出てくることに気づきます。私たち的大祭司（コーエン・ガドル）イエシュアによって私たちは清められたことを喜びましょう。彼こそが生ける水なのです！贖いと癒しのこの素晴らしい季節の新たな始まりの時に、救世主メシアの平安（シャローム）が私たちの心を支配し、私たちがその栄光を語ることができますように！

賛美

主であるわたしは変わることがない。ヤコブの子らよ。あなたがたは、滅ぼし尽くされない。

マラキ書 3:6

私は主を待ち望みます。私のたましいは、待ち望みます。私は主のみことばを待ちます。 詩篇130:5

ほむべきかな。日々、私たちのために、重荷をになわれる主。私たちの救いであられる神。セラ

詩篇68:19 (20)

歌う者が先に立ち、楽人があとになり、その間にタンバリンを鳴らしておとめらが行く。「相つどうて、神をほめたたえよ。イスラエルの泉から出た者よ。主をほめたたえよ。」 詩編68:26~27

告白

神よ。御恵みによって、私に情けをかけ、あなたの豊かなあわれみによって、私のそむきの罪をぬぐい去ってください。 詩編51:1~2

感謝

メシアのシャロームが、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。 コロサイ人3:15

とりなし

..... が地にあるものではなく、上にあるものを思いますように。
コロサイ3:2

.....、何をためらっているのですか？立ちなさい。その方の名を呼んでバプテスマを受け、自分の罪を洗い流しなさい。
使徒22:16

わたしは.....の父となり、.....はわたしの息子/娘となる。
2コリント6:18

.....に救い主イエシュアを通して神の約束が与えられますように。肉と霊の一切の汚れから自分をきよめ、神を恐れつつ聖さを全うすることができますように。
2コリント7:1

親切なことばは蜂蜜。たましいに甘く、骨を健やかにする。.....が親切なことばを使いますように！
箴言16:24

.....が真理を知り、真理が.....を自由にしますように！
ヨハネ8:32



先生たち

神のことばは、すべて純粹。神は抛り頼む者の盾。
箴言30:5

学校

私たちの戦いの武器は、肉の物ではなく、神の御前で、要塞をも破るほどに力のあるものです。私たちは、さまざまの思弁と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべてのはかりごとをとりこにしてメシアに従わせ、
2コリント 10:4~5

会衆

愛する者たち。私たちは、今すでに神の子どもです。後の状態はまだ明らかにされていません。しかし、メシアが現れたなら、私たちはメシアに似た者となることがわかっています。なぜならそのとき、私たちはキリストのありのままの姿を見るからです。
1ヨハネ3:2~3

イスラエル

しかし、わたしの名を恐れるあなたがたには、義の太陽が上り、その翼には、いやしがある。あなたがたは外に出て、牛舎の子牛のようにね回る。
マラキ書4:2~3

エルサレムの平和のために祈れ。あなたを愛する人々が安らかであるように。
詩編 122:6

祝祷

主の御名によって来る人に、祝福があるように。私たちは主の家から、あなたがたを祝福した。
詩篇118:26